

受益者を支援者に。「表現による自己の回復」と「ファンドレイジング」の相乗効果を広げたい！

◆プロジェクト概要

NPO法人シングルマザーシスターフッド(SMS)では、シングルマザーが自分の身体や心をセルフケアし、オンラインで地域を越えて交流することで互いを励まし合える機会を提供しています。セルフケアがあとまわしになりがちなひとり親に対して参加のハードルをできるだけ下げるために、参加費は無料にしています。運営資金は個人または法人からの寄付で賄っているのですが、その寄附集めの一環として、年に2回、シングルマザー当事者たちによるエッセイを発表して寄付を募集するキャンペーンを実施しています。

※過去のキャンペーンはこちら⇒ [『Mother's Day2021』](#) [『寄付月間2021』](#) [『Mother's Day2022』](#)

当事者の自己回復の促進とファンドレイジングの推進、この二つを同時に叶えるこの仕組みは「困難を抱える人々をサポートする他の団体でも活かせるのではないだろうか?」「自団体でもやってみたいのでやり方を教えてほしい」といった問い合わせを頂いています。今回のプロジェクトは、これまでSMSで蓄積してきた、本キャンペーンの進め方のノウハウ、チームビルディングやプロジェクトの企画、実行、モニタリング、振り返りのために作成して活用しているシートなどのツールを改めて整理し、他団体の皆さんがこうしたプログラムを実施できるようになるためのセミナーとツールのパッケージをつくり、支援団体の皆さんに購入・活用していただく流れを作りたいと思っています。



<https://sisterhoodandselfcare.org/>

◆根底にある思い・ビジョン

シングルマザーの多くは、配偶者からの暴力、差別や偏見、離別による自信喪失などにより精神的不調をかかえています。こうした不調に対し、エッセイ制作は「表現を用いた自己の回復」を促すプログラムでもあります。自分の体験を言葉にしていく過程は簡単なことではないですが、だからこそキャンペーンという場で、似た体験や感情を共有する仲間と出会い、作品と一緒に作り上げていく過程で、執筆者は自分をポジティブに再定義し、人生を前向きに進める力を得られるのです。また、シングルマザーが、支援を受ける側にとどまらず、寄附集めに貢献する立場を経験するというパラダイムシフトは、人生の新たな可能性を感じさせてくれます。こうした変化を日本のあちこちで起こせるよう、私たちの知見を共有していきたいと思っています。



◆いま抱えている課題

- ・私たちが試行錯誤しながら開発してきた手法を他団体に活用していただくには、客観的な視点と、提供価値の定義が改めて必要だと感じています。
- ・マニュアルやツールはあるのですが、それを一つのパッケージとしてまとめあげるための人、時間などのリソースがない現状があります。

◆3か月間のプロジェクトのゴール

- ・2023年3月頃に他団体に向けた研修のプロトタイプを実施
- ・そのためにパッケージ資料の仮案を3か月かけて完成させたい
- ・エッセイ制作による寄付キャンペーンを実施するための手法を学べるセミナーに5団体が参加し、手応えをつかんでいる。

◆PJの先にあるこの事業のゴール

- ・エッセイ制作による寄付キャンペーンが、SMS以外の団体で実施され、受益者のエンゲージメントが高まっている(10団体)
- ・キャンペーンの手法を活用してプロジェクトを進めていきたい団体に対して、有料でコンサル、伴走をする。(5団体)

シングルマザーの抱える問題

- ① 経済的困窮
- ② 身体的疲弊
- ③ 精神的痛み、不安
- ④ 孤独

◆プロジェクトオーナー(法人)紹介 NPO法人シングルマザーズシスターフッドについて

《ミッション》

子育ての責任を一手に担うシングルマザーが、自分の身体や心をケアする時間を持ち、地域を超えて交流することで、互いを励まし合えるような機会を提供します。

《ビジョン》

家族のあり方や生き方がますます多様化する現代において、困難な状況に陥りやすいひとり親の女性が、本来持つ力を発揮して、生きいきと暮らしていけることを目指しています。

ひとり親家庭の子どもも社会から暖かく見守られながら健やかに育つこと、多様性が尊重され一人ひとりが自分らしく生きいきと暮らしていける社会づくりに寄与することを目的として活動しています。



◆プロジェクトオーナー(個人)自己紹介



吉岡マコ(よしおかまこ)1972年生まれ。埼玉県出身。東京大学文学部で身体論を学び、96年に卒業後同大学院生命環境科学科で運動生理学などを学びつつ、学外でヨガ、東洋医学、ダンスセラピーなど、さまざまなボディワークを学ぶ。1998年の出産をきっかけに、日本の産後女性の健康状態の過酷さや回復のためのサポート体制がないことを知り、産後ヘルスケアのプログラムを独自に開発、同年9月に「産後ケア教室」を立ち上げる。2007年NPO法人マドレボニータを設立。インストラクターの養成認定制度を整備し、産後セルフケアインストラクターという職業を確立させた。『産後白書』など産前産後の調査研究や啓発活動にも力を注ぐ。2020年12月に同団体の代表を退き、新団体シングルマザーズシスターフッドを設立。シングルマザーのセルフケアとエンパワメントに尽力している。趣味は映画、家庭菜園、コンポスト、ダンス、ゴルフ、ランニング。現在はパートナーと2人暮らし。子どもは大学卒業と同時に1人暮らしをはじめ、社会人3年目。著書『みんなに必要な新しい仕事』『産前産後のからだ革命』等

【法人概要】

法人名	NPO法人シングルマザーズシスターフッド
所在地	186-0002東京都国立市東1-15-11 448ビル3F
社員数	3名
売上・予算規模	1,200万円(2021年度)
事業内容	シングルマザーのセルフケア講座事業、女性のエンパワメント事業 家族の多様性や生き方の多様性に関する啓発事業

報酬プラン	B(プロボノ)
採用予定人数	1~4名
こんな人に来てほしい!	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOやソーシャルセクターの活動底上げに貢献したい方 ・当事者によるエンパワメントを促すことに関心のある方 ・ファンディングの新しい施策を模索している方など
個別説明会	11/18(金)12:00-13:00
オンライン面談候補日時	11/28(月)15:00-17:00の間 11/29(火)15:00-17:00の間 11/30(水)15:00-17:00の間 12/01(木)15:00-17:00の間
キックオフmtg日時	12/6(火)13:00-16:00